

留萌市

十河 麻未

1. 概要と歴史

留萌市は、北海道西北部における留萌支庁管内の中心都市であり、水産加工を基幹産業とし、さらに国の重要港湾を核として、たゆまぬ発展を続けているマチである。

2. 「留萌市」の名前の由来

「るもい」の語源はアイヌ語の「ルルモッペ」である。「ルルモッペ」はアイヌ語で「海の水が静かに流れ込む河川」という意味。これは留萌の海にそそぐゆるやかな流れの留萌川を意味し、その河口付近を「ルルモッペ」と呼んでいた。アイヌの人たちの一大中心地で、和人との交易が盛んに行われていた。

3. 開基と歴史

留萌の開基は明治 10 年、留萌外二村戸長役場が建設された年に定められています。江戸時代前期頃から松前藩の知行地（ルルモッペ場所）として、漁業や交易を行う和人の定住が始まりと言われている。当時の人口はわずか 600 人ほどであった。

明治 38 年、大和田炭鉱が創業した。大和田炭鉱では年間 2 万トン以上もの石炭が採炭され、留萌港から本州へ送られた。明治 40 年には巻き上げ機械を設備、大和田から留萌までは馬車で運び、当時としては一流の先進的な炭鉱であった。経営者である大和田荘七さんの名前は、国鉄留萌線の駅名や大和田町という地名としていまでも残っている。

明治 43 年、深川～留萌間を結ぶ国鉄留萌線が開通した。それまで札幌へ行くには留萌から船で石狩へ出るのが主で、冬の大時化の時には通行ができなかった。国鉄の開通は留萌の発展に大きな拍車をかけることになったのである。この年、時を同じくして念願の留萌港築港工事が始まり、大和田炭鉱からの石炭が順調なこともありまさに新興の町として活気に溢れていたときであった。この時期、留萌の人口が一気に増えたのであった。

明治 43 年の国鉄留萌線の開通と同時に着工された留萌港は昭和 8 年完成した。これに伴い空知炭鉱、留萌近郊の天塩炭鉱の石炭積出港として活躍し、留萌発展の基盤となる港になったのである。石炭は主に本州方面に送られた。

しかし、エネルギー革命により昭和 30 年代後半から 40 年代にかけて次々に炭鉱の閉山し、石炭積出港としての留萌港の役目は終わり、町全体の衰退が始まることになる。

現在留萌港では、主にロシアやマレーシアなどから木材や石炭などが入ってくる。

1884 年、留萌市礼受町で始まったニシン漁は留萌における水産加工の原点といえる。漁獲されたニシンの大部分は肥料としての漁粕、保存食品としての干し数の子、身欠ニシン

等に加工され、北前船により本州方面へ出荷された。以後昭和 29 年に前浜からニシンが消えるまで長く続くことになる。

ニシンが獲れなくなってから、ロシア、カナダ、アメリカ等から冷凍練、原卵を他地方に先駆けて輸入し、伝統あるニシン加工の技術と数の子の品質向上にまい進した。その結果「全国一の生産量と品質を誇る留萌の数の子」と評価されるようになったのである。

4.留萌市の位置

北海道の北西部、札幌と稚内のほぼ中央に位置する。同規模の地方都市（名寄市、紋別市、網走市、根室市など）と比べ、北海道の二大都市である札幌と旭川の両方に近く、地理的に恵まれていると言えるであろう。

留萌管内でみると留萌管内では南に位置している。留萌管内の中心都市ではあるが、一番大きいというわけでもない。

図 1 留萌支庁における留萌市の位置



出典：留萌支庁HP

図 2 北海道における留萌市の位置



出典：留萌市HP

5.留萌市の地理・気候

・地理

留萌市は 経 度 東経141度
緯 度 北緯43度 に位置している。

市の地形を概観すると、東西に走る留萌川を中心に両翼には平原、丘陵が続き、南側の地形は比較的高度のある山並みがあり、北部は低位な丘陵地である。

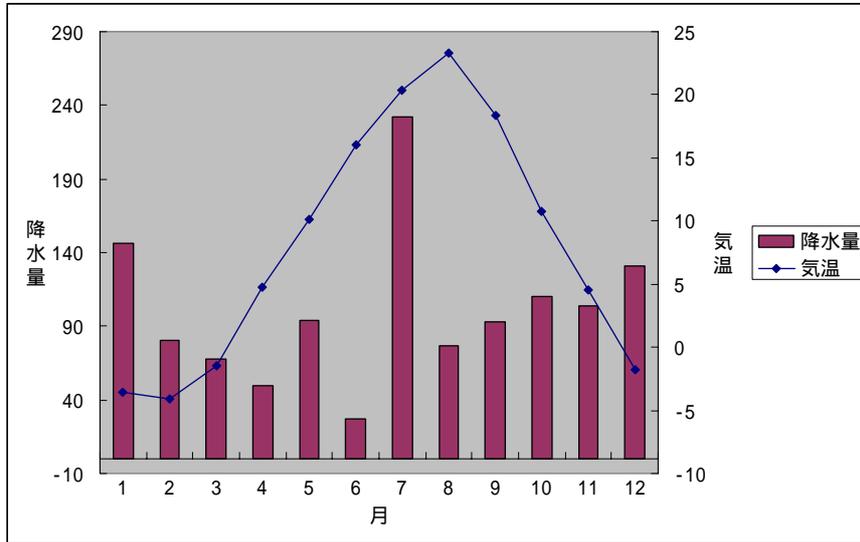
市の中心部は商店街によって形成され、南部には官公庁、学校、住宅地が広がっている。また、とても自然に恵まれた都市である。

土地面積は 297.31 Km² で留萌支庁管内の中心都市であるが、留萌支庁管

内の中で広さ的にはそれ程大きいとは言えない。

・気候

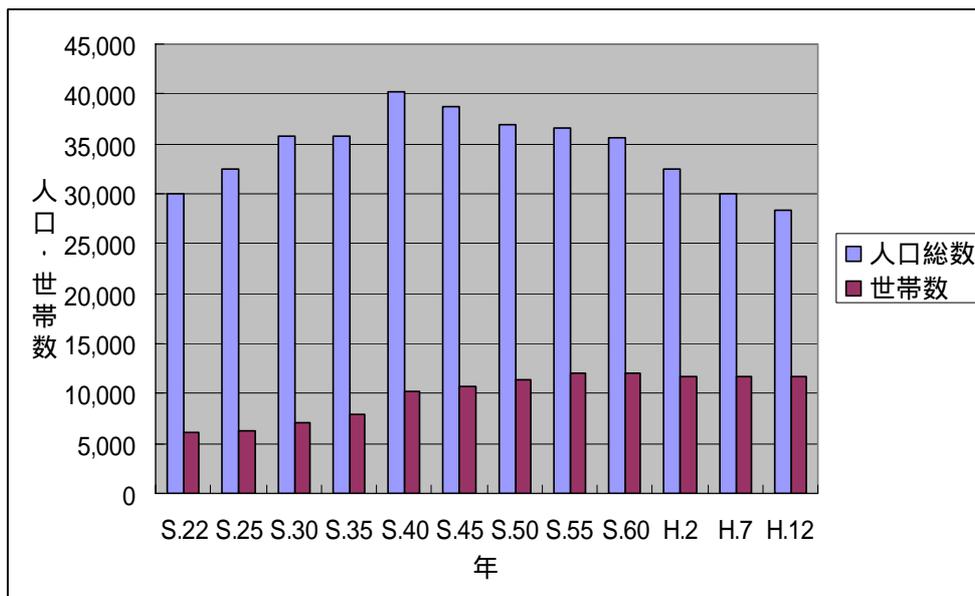
図³ 留萌市の気温と降水量の推移



留萌の雪解けは、3月下旬から始まり、市内の雪が完全になくなるのは、4月下旬になります。夏は30を越えることは滅多になく、暑くて寝苦しいということはなく、一年で一番良い季節といえるであろう。冬は海に面しているため、内陸のように氷点下20以下になることはないが、ともかく強烈な風が吹く。強風のため、留萌では、雪が横から降り、地吹雪で視界がまったく利かなくなることもしばしばある。

6. 留萌の人口と世帯数推移

図⁴ 留萌市の人口推移・世帯数推移



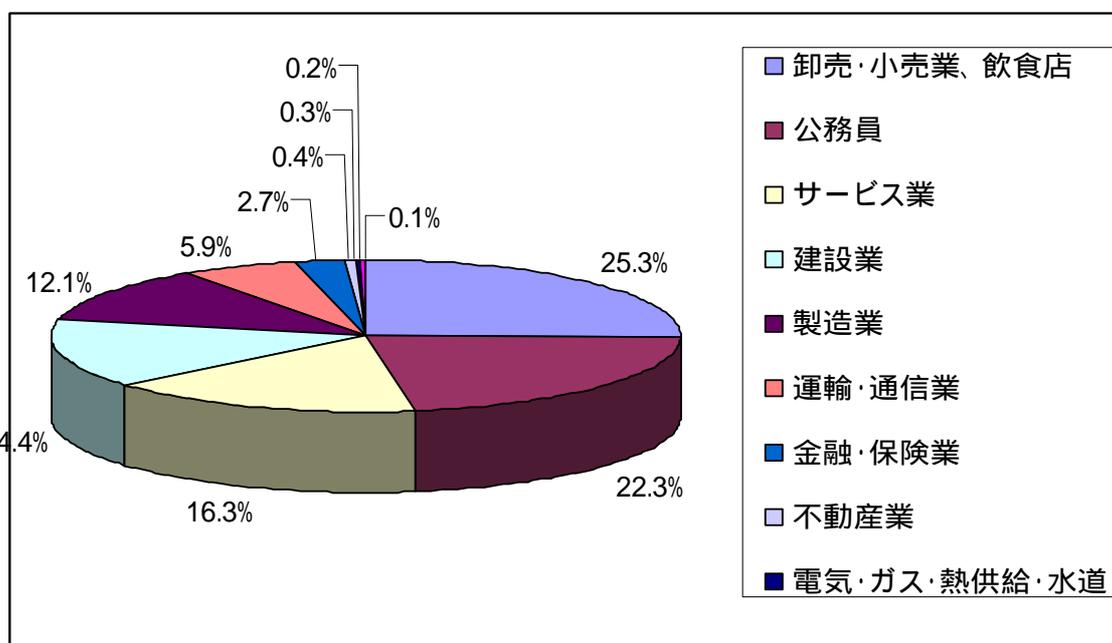
留萌市の人口は、昭和初期から中期にかけて急速に増加し、昭和40年には40,231人に達した。グラフを見てもわかるように昭和40年が留萌市の人口のピークであり、その後は、減少に転じ、平成12年には28,325人と3万人を割り込み、今なお過疎化が進んでいる。

しかし、グラフを見ると人口は減少を続けているが世帯数は昭和60年頃まで増えその後は停滞している。

平成12年の人口は、全道34市中24位となっており、人口密度は95.3人/km²で全道市部23位、男女別では、男13,579、女14,646となっている。

年齢別の人口の推移を比較すると、15歳未満の若年者人口の減少と65歳以上の高齢者人口の増加が著しくなっている。現在、国で問題になっている少子高齢化が早いテンポで進んでいる地域と言える。

図5 産業別人口グラフ



留萌は、日本海に面しているのと、過去にニシン漁で発展した歴史があることなどから、漁業や水産加工業が盛んなイメージがありますが、実際、市民の間では「公務員の街」と呼ばれている。

陸上自衛隊留萌駐屯地、国土交通省留萌開発建設部、留萌海上保安部、北海道留萌支庁、留萌土木現業所など国や道庁の機関が多く所在するほか、規模の大きい市立病院の存在も公務員の比率を高めている。

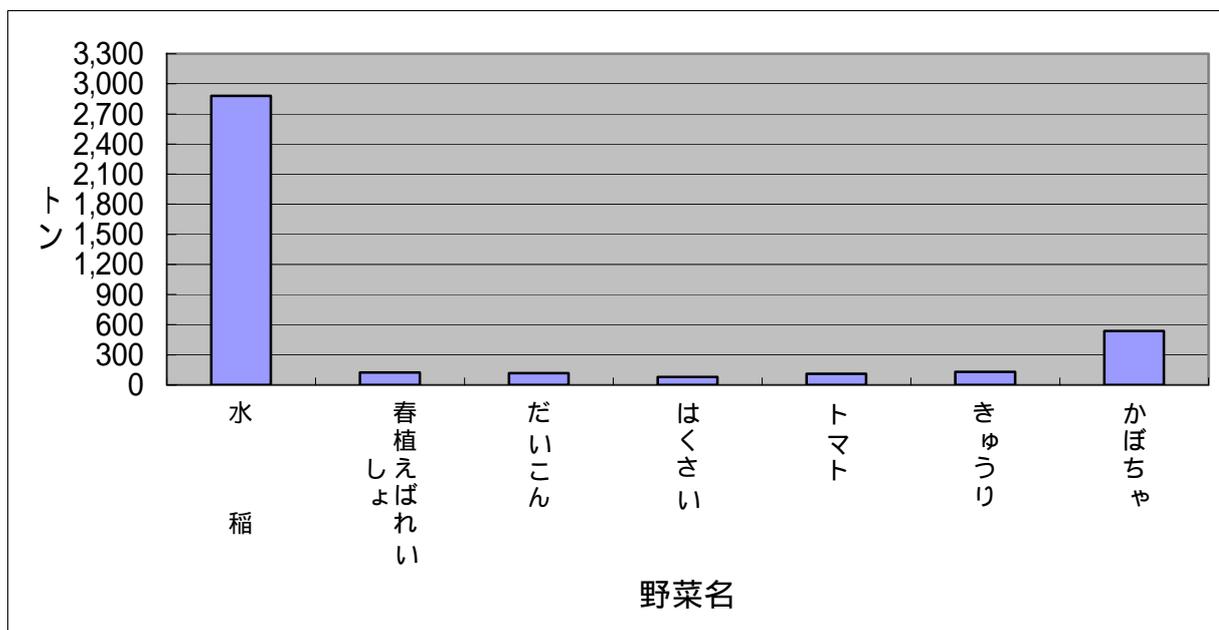
グラフをみると、留萌市の公務員の比率は22.3%と全国比率の8.7%を大きく上回っている。留萌で働いている人の5人に1人が公務員ということになる。

7. 留萌市の農業

留萌市は、日本海側の留萌支庁南部に位置し、稲作を中心に畑作物、野菜などとの複合

経営が行われている。農作物で一番収穫率があるのは水稲、次にカボチャ、キュウリと続く。しかし、水稲と他の農作物では収穫高に大きな差があることがグラフを見てもわかる。それだけ、留萌市の農業の中心は水稲であるといえる。農地は、日本海にそそぐ留萌川に沿って広がっている。農家1戸当たりの経営面積は約5.8haと少なく、農家経営は農外収入に依存している割合が年々高くなっている。近年、経営者の高齢化と担い手不足が深刻になり、農地の遊休化や荒廃が進み地域の活力も低下し、地域農業の再編が大きな課題になっている。

図⁶ 留萌市の農業生産量



8. 留萌市の観光

北海道・日本海に面した留萌市には様々な観光スポットがあります。その中でいくつかを紹介したいと思います。

千望台

留萌の高台、千望台から海を望めば、北には天売焼尻国定公園の二島の眺め。晴れた日には利尻富士も見ることが出来ます。夜になると、留萌の夜景を楽しみにカップルが集まる場所でもある。

千望台は留萌メモリアルパークでもあり、さまざまなモニュメントが建ち、レストラン・サンセット千望台がある。

黄金岬と並び、留萌観光スポットとしては欠かせない場所で、近隣市町村からのドライブスポット、市民憩いの場とされている。

図 6 千望台からの眺め



出典：留萌市HP

ゴールデンビーチ

黄金岬と浜中海水浴場の間に位置する突堤と潜堤（水中リーフ）に囲まれた波の静かな人工海水浴場である。7月上旬にはビーチバレーの大会が開催されたり、シーズン中は水上オートバイを利用したマリンスポーツが誰でも体験できたりします。そのため、旭川などの近郊の街から多くの人々が訪れる。

黄金岬

磯浜の公園で、岩礁から岩礁を渡る栈橋が整備され、大人も子供も磯遊びを楽しむことができる。海岸の道路沿いには、喫茶店や海の家などが立ち並び黄金岬キャンプ場も並設されている。夕陽のポイントでもある黄金岬は、夕陽のクライマックスを迎えるとライトアップに浮かび、日中の喧騒感から一転してノスタルジックな日没の海岸にハマるであろう。黄金岬の上にあたる場所には、「海のふるさと館」があり留萌の歴史・文化などを紹介している。

礼受牧場

礼受牧場は礼受高台に位置している。牧場の緑をはさみ、後ろには風車、前には青い海という景勝ポイントである。夜になるとライトアップが施される。風車が設置されたのには理由がある。左右小高い丘に囲まれ、扇状型の留萌市街地は比較的穏やかであるが、冬季間はシベリアからの強い季節風の通り道になり、海は怒涛が荒れ狂い、海岸一体は吹雪きに見まわれる日が続く。この自然エネルギーを利用するため、礼受牧場に風力発電用の風車が設置されたのである。隣接する畜産館”トリム”では、カレーライス等の軽食を楽しめるほか、地元の農作物を食材にバーベキューをすることもできるようになっている。

参考HP：<http://www7.ocn.ne.jp/~rukankou/00kankouchi/06reukeboku/01.html>

<http://www.e-rumoi.jp/>

<http://www.rumoi.pref.hokkaido.jp/>

<http://www.nekonet.ne.jp/rumoi/rumoirekisi.html>